



スノーラーメン
Facebook

※ライオンズクラブ：200を超える国と地域に約48,000クラブ、140万人の会員を擁する世界最大の奉仕団体。

今回は、米沢ラーメンを新たな形でブランド化し、特に訪日観光客増加を目指す「スノーラーメン協会」会長の横山昭子さんにお話を伺いました。横山さんは、高校卒業後アメリカに留学。帰国後は旅行会社でインバウンドを担当し、その後自衛隊の情報部隊で翻訳業務などを行いました。実家を継ぐために米沢に戻ると、持ち前の英語力を活かして英語教室を開校。また、2000年から米沢松川^{*}ライオンズクラブに入会し、国内だけでなくラオスなど海外でも慈善活動を行っています。

横山さんが「スノーラーメン」を考案したのは2019年、地方創生のアイデアを考える「超絶まちづくりワークショップ」でのことでした。「かまくらの中でラーメンを食べる」「ラーメンを運んでくるのは甲冑を着たサムライ」というインバウンド向けのイベントとしてスタート。今年は米沢麺業組合などの協力を得てレシピコンテストを実施。受賞レシピは11月にプロ監修のもと実際にラーメンになりました。

「スノーラーメン」の原点は、米沢の豊かな雪を、不便なものではなく観光資源とし

食^ゆべに行きたくなる
新たなラーメンを目指す



レシピコンテスト受賞レシピの1つ
「Slow&Snow なヴィーガン豆乳担々麺」と「雪花」のコラボラーメン

てアピールすることで、米沢の冬の観光をもっと盛り上げたいという思いでした。今後、東京や京都などの都市観光を終えた訪日観光客は、地方に足を向けます。その中で「スノーラーメン」がブランドとして定着し、観光における「食」と「体験」の目的の一つになってほしいと横山さんは話します。

今年度の雪灯籠まつりで「スノーラーメン」を販売予定とのこと。雪灯籠まつりの楽しみがまた一つ増えそうです。

—第10回—

よこやましょうこ
横山昭子さん
(相生町)

(株)in-need 代表取締役。
米沢松川ライオンズクラブ会長。米沢市国際交流協会事務局長や米沢市観光振興委員を歴任。